

自昭和十九年一月一日
至昭和十九年五月六日

ナガ野戦病院

第十六師團第二野戦病院第二半部

四、收容患者部隊別員數表

二月三日	戰傷	一	第六三兵站病院	列車	本庄君士官下士一兵五
二月八日	戰病	一	第一二陸軍病院	戰機	北澤一軍曹

本期間に於て收容患者部隊別員數表 附表第三如之

五、別收容及轉歸表

本期間に於て別收容轉歸表 附表第三如之

六、治療概況

外科前開設間同一位置に於て治療ヲ續行スルニ益々設備ヲ完備ニ努メ治療才針ニ基キ適切ナル處置ト現地ニ於ケル治療原隊復歸セシムル如ク治療ノ完壁ヲ期セリ 尙衛生材料節約爲 繃帶材料ノ再製ニ努メテ

本開設間外科の疾患ニ依ル收容患者ニ三名ニテ戰傷三名戰病一名花柳疾患一名計四名戰傷三名戰病一名花柳疾患一名

骨折ニアリテハ、整復術、副木装着、固定、繃帯ヲ行ヘリ

花柳病ハ、淋疾ニ名、軟性下疳(名ニシテ之ガ原因ヲ探究シ慰安婦ニ

查ニ於テモ、檢鏡検査等ヲ併セ行ヒ、感染源ノ更除ニ努メタリ

淋疾ニハ、フロクシラビン、靜注、ネオフロントゲル、筋注、並ニ淋菌ワクチン注射

スルヲアシ、劑衝撃療法ヲ行ヒ、マ(一)ニ、%、プロタルコール液、漸進的尿道

洗滌、並ニ「ブジ」挿入ヲ施セリ

挫傷、ハ、イヒテ、アルコール、酒精塗布、後、硼酸水、濕布ヲ實施ス

本問、設問ニ於ケル、手術名、簿寫、附表、第四、如シ

又、内科、本期間、内科疾患、收容、總數、ハ、二十九名ニシテ、之ガ、主ナルモノ、ハ、

リ、ア、三名、右、濕性、胸膜炎、二名、急性、大腸炎、一名、腸病、一名、カ、ル、カ、性、肺

炎、一名、急性、カ、タル、性、喉頭炎、一名、未定、二、〇、名、ナリ

診断、主眼ヲ、防疫的、早期、診断(就中、マ、リ、ア、結核、腸管系、傳染病)ニ、置キ

特ニ、病理、檢索、徹底、ニ、努メ、タリ、即、入院、當初、ニ、於テ、患者、全員、ニ、マ、リ、ア、原、因、ヲ

追、究、シ、テ、之、ヲ、明、カ、ス、ル、ニ、努メ、タリ、又、本、問、ニ、於テ、ハ、